

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』第1回

現役最高幹部、命をかけた内部告発！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。(オンライン有料購読にて入手・・・一部要約抜粋)

<週刊現代2006年7月15日発売号>

警察庁長官が認めた「秘密組織」の存在

現在、警察組織のトップに立つ漆間巖(いわ)警察庁長官は警備局長時代の01年5月、衆院国土交通委員会で、革マル派組織内部に、「トラジャ」といわれるJR内の労働者を指導する労働委員会があり、その下部に「マングローブ」という組織が存在することを「捜査でその裏づけを取っている」とした上で、こう答弁した。警察としましてはJR総連、東労組内において、影響力を行使でき得る立場に革マル派系の労働者が相当浸透していると見ているところであります(衆院議事録より)・・・

この問題についてJR関係者の口は極めて重く、ようやくたどり着いた決定的な証言者が、目の前に座るA氏だった。A氏は、矢継ぎ早に質問を浴びせかける私を、悲しげな表情で見詰めていたが、やがて何かを吹っ切るかのように話し始めた。「オウム事件が起きたころ、『マインドコントロール』という言葉が流行はりましたが、あれと一緒にです。わが社もマインドコントロールされているんです。それもトップの経営陣から、現場の社員に至るまで全員が、『革マル派』という組織に。この問題について語れば、身内の恥部を公にすることになる。また、いつかは心ある人が立ち上がってくれると期待していたからこそ、今まで沈黙を守り続けてきました……。その一方で、過去にこの問題をマスコミに告発した人たちは皆、潰されていったので、もはやこの会社に自浄能力は期待できないと、半ば諦めの気持ちもありました。しかし来年でJRは'87年の旧国鉄分割民営化からちょうど20年を迎えます。われわれ旧国鉄マンにとっては節目の年です。にもかかわらず、今後もこの問題について、口を閉ざし続ければ、貴方の言うとおり、お客様だけでなく、国民の皆様に対する背信行為になるでしょう。確かにJR東労組やJR総連に革マル派が潜り込んでいるという事実は、5年以上も前から国会の場で、捜査当局から再三指摘されています。しかし、過去、そして現在のわが社の経営陣は、まるでそんな答弁があったことを知らないかのように、いや、そのような事実すらないかのように振る舞っているというのが現状なんです」(A氏)・・・

「分割民営化から19年という歳月を経て、革マル派はJR東日本という組織の隅々まで浸透しました。わが社の経営陣は今や、捜査当局が『革マル派が浸透している』と指摘するJR東労組とベッタリ癒着し、経営の根幹を成す『人事権』にまで、彼らの容喙(ようかい)を許している。その結果、わが社では『東労組(組合員)にあらざれば、人(社員)にあらざ』という風潮がまかり通っているのです。ではなぜ、わが社の経営陣が革マル派に取り込まれてしまったのか。その原点は、『国鉄改革』にあるのです。JR革マル派問題は言わば、国鉄改革の“負の遺産”なのです」(A氏)